

会議概要附属機関等の名称 安曇野市上下水道事業経営審議会

- 1 会議名 平成30年度 第6回 安曇野市上下水道事業経営審議会
- 2 日時 平成31年2月28日(木) 午後2時00分から午後3時10分まで
- 3 会場 本庁舎 共用会議室307
- 4 出席者 飯沼会長、丸山副会長、臼井委員、大江委員、小松委員、保尊委員、  
宮澤委員、森重委員
- 5 市側出席者 金井上下水道部長、沖経営管理課長、水谷上水道課長、三澤下水道課長、  
小松管理係長、横山工務係長、大林維持係長、山本維持管理担当係長  
石川整備担当係長、古畑庶務担当係長、中島庶務担当係長
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 1人
- 8 会議概要作成年月日 平成31年3月4日

協議事項等

○会議の概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事  
(1) 水道料金に関する説明会の結果について  
(2) 平成31年度上下水道事業について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

○議事の概要

(1) 水道料金に関する説明会の結果について  
会 長：水道料金に関する説明会の結果について事務局から説明をお願いします。  
(事務局から説明)

< 質疑 >

会 長：質問があったら、委員の皆さんの発言をお願いします。  
委 員：議会に提案している内容は、金額と時期といった内容が答申どおりか。  
事務局：答申を尊重し、答申どおりの内容で給水条例の改正を提案している。

(2) 平成31年度上下水道事業について

会 長：平成31年度上下水道事業について事務局から説明をお願いします。  
(事務局から説明)

< 質疑 >

会 長：委員の皆さんから質問があったらお願いします。水道事業の給水収益は料金改定後の収益を含んだ予算となっているのか。  
事務局：料金改定適用後の料金収入を考慮した予算となっている。  
委 員：下水道事業で一般会計からの繰り入れがあるが、一般会計側の財源の仕組みはどうなっているのか。

事務局：下水道事業債の約半分が交付税措置で国から補助ができる。それを原資にする部分と施設の建設の元利償還にかかる負担が平均団体より大きい場合に措置がある。それがだいたい9億円くらいずつで18億円ほどある。一般会計からの繰り入れが収益的収入と資本的収入の合計で20億3千万円あり、18億円との差が3億円弱ある。この差は、総務省から示されている繰り出し基準により交付税措置部分と下水道使用料でまかなえない汚水処理にかかる経費は繰り出してもいいことになっていて、一般会計の財源を上乗せして入れてもらっている。

会長：コスト削減として職員削減の計画はあるのか。

事務局：職員配置については、毎年、職員課と調整を行っている。水道は業務量が増えているので人的確保をしないと水道ビジョンにある事業が滞ってしまう。下水道も新たな施設の統廃合についての準備を進めていかなければならない実情がある。予算上、今年度並みの職員数ということで盛り込んである。職員の給与は、水道料金、下水道使用料でまかっているの、職員数を増やすことは難しい。これまでに企業会計は委託という話もあったが、委託をしていくと自分らで管理ができなくなる恐れもある。コストの面からすると削減にはつながっていかないが、事業を円滑に進めていくために必要な職員数は確保させてもらっている。

委員：猿や猪といった動物から水源を守ることに対策はとっているのか。

事務局：水源はすべて地下水になっている。水源転換前の三郷地域では黒沢川の表流水を使っていたので、メダカで有害物質が入っていないかを確認していた。地下水は100メートルの深井戸から汲み上げていて、地中の堆積層を通ってろ過されきれいな水となっている。農薬の被害が心配され3年前に調査したが、基準を超えるものは無かった。30年度まで放射能検査もしてきたが、数値に問題は無かった。農薬の検査は5年に1度は実施していきたいと考えている。

委員：安心安全な水のためにしっかり確認してもらいたい。

事務局：水質検査の結果は市のホームページに掲載しているので、確認してもらいたい。

その他

事務局：水道ビジョンの進捗状況や評価は、毎年度、上下水道事業経営審議会に報告し、意見をいただきながら今後の取組に反映していくこととなっている。下水道の計画の経営戦略も同じようにフォローアップしていく必要があるの、今後は年1回か2回の会議を開催したい。次回は、10月くらいを考えている。

(閉会)